

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)における大気環境状況測定結果

H27年度(H28.3)

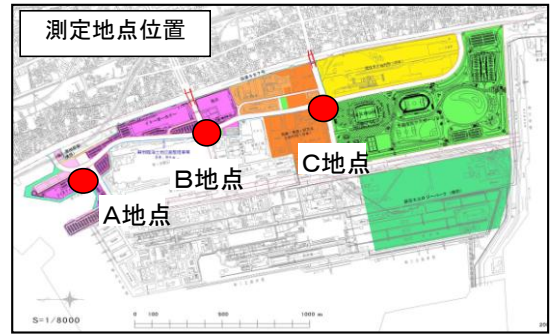
当所敷地境界における大気環境状況につきまして

H27年度は、以下の内容で調査しております。

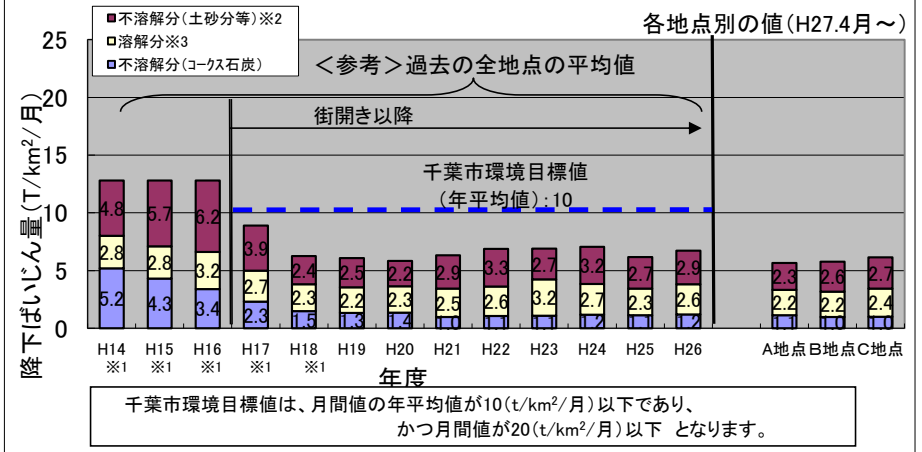
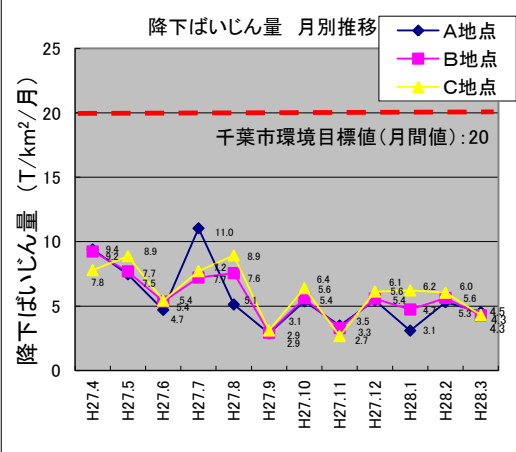
- ・測定地点: A、B、C 3地点 (右図参照)
- ・測定項目: 1) 降下ばいじん量
2) 悪臭
3) ベンゼン
- ・測定頻度: 1) 降下ばいじん量: 1月単位 2) 悪臭: 1回/2週間 3) ベンゼン: 1回/1週間

なお、各項目の分析業者は、以下のようになっております。

- 1) 降下ばいじん量: 日廣産業(株)環境技術センター
- 2) 悪臭: 中外テクノス(株)関東環境技術センター
- 3) ベンゼン: JFEテクニサーチ(株)分析ソリューション本部 千葉工程分析部



1) 降下ばいじん量



- ・※2 不溶解分(土砂分等)には、蘇我臨海地区内の造成等基盤整備工事等の要因が含まれる。
- ・※3 溶解分: ナトリウム、マグネシウム等の可溶成分。海域からの飛来する塩分が主体。

2) 悪臭

臭気濃度測定結果

地点	項目	H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3
		N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
A地点	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	16	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
B地点	N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	16	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
C地点	N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	13	16	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

<参考>過去の全地点の測定値

項目	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	N数	75	78	75
協定値(※4)達成数	75	78	75	75
臭気濃度最大値	20	19	19	19
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

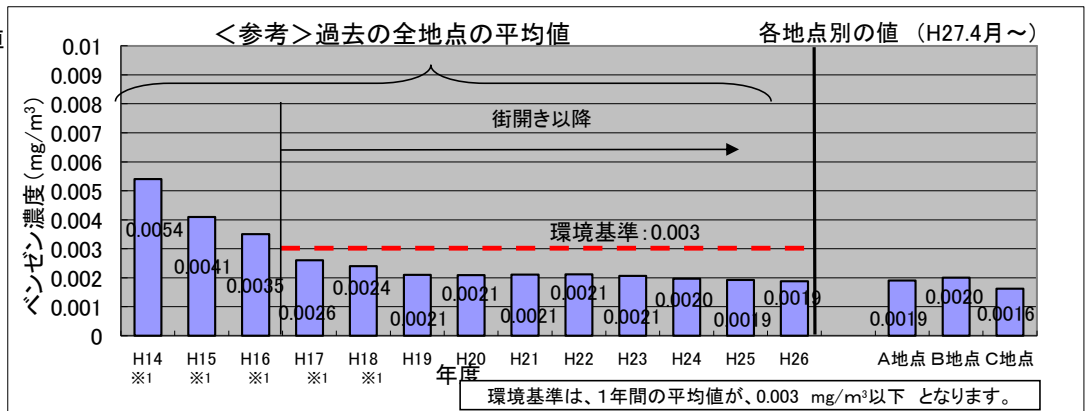
項目	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
	N数	72	72	72
協定値(※4)達成数	72	72	72	72
臭気濃度最大値	20	10未満	13	13
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

※4 悪臭の協定値は、敷地境界20以下です。

3) ベンゼン

各地点 ベンゼン濃度平均値

- A地点: H28.3における N=51の平均値
- B地点: H28.3における N=51の平均値
- C地点: H28.3における N=51の平均値



【備考】※1 過去の測定データにつきまして、

- 1) 各年度のデータの測定期間は以下のようになっております。
・H14年度はH14.10～11、・H15年度はH15.3、・H16年度はH16.6～H17.3、・H17年度はH17.5～H18.4(街開き後1年間)
- 2) 各測定地点の位置、個別のデータ詳細につきましては当該年度の、『測定結果一覧表』をご覧ください。